

会議顛末書

						記 録 者	副主幹 鈴木 滉平		
供 覧	市 長	副市長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係 長	グループ員	
	/								
件 名	令和5年度第7回次長会議								
年 月 日	令和6年2月6日（火）								
時 間	午前8時45分～午前9時45分								
場 所	附属棟2階会議室								
欠 席 者	なし								
内 容	<p>【審議事項】</p> <p>1 龍ヶ崎市駅東口駅前広場の整備計画の見直し検討について[道路公園課]</p> <p style="text-align: center;">資料に基づき、道路公園課より説明</p> <p>≪主な意見・質疑≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度の庁議で整備計画の見直しを審議した際に、当該計画の再開について何か条件はあったのか。 ⇒ 条件は無かった。 ・ 駅前広場での事故が増加しているため、安全対策として早急に改修を行いたいとのことだが、事故が発生している場所や事故の理由は調べたのか。 ⇒ 警察に場所を確認したところ、駅舎前とロータリー内の駐車場で事故が発生しているとのことであった。これは、横断歩道手前での急な車線変更や駐車場内での後進時の自損事故だと考えられることから、これらを加味した改修計画としている。 ・ 横断歩道手前の車線の間にはラバーポールを設置するのか。 ⇒ 車線変更できないように設置している。また、ロータリー内での車線をカラー舗装で色分けしており、緑が一般車レーン、グレーがそれ以外の車のレーンとしている。 ・ 一般車の乗降所などがロータリーの内側に設置されているため、横断歩道を利用する人が増えるが、歩行者への安全対策はとるのか。例えばだが、黄色点滅の押しボタン式信号など、信号を設置することはできないか。 ⇒ 歩行者用信号を考えたが、150メートル以上離れていなければならないことや、ロータリー内での信号というのはあまり見たことがないということもあり、信号機設置は予定していない。 → これでは、子どもや高齢者が横断歩道を渡るのが難しいのではないかと。安全対策を講じるべきだと思う。 ⇒ 注意喚起も含めて検討する。 ・ ロータリー運営協議会を設置するとのことだが、路線バスの運行に支障がないように、企業バス等には5分ルールを課すなどしても良いと思う。定めた際には守ってもらえそうか。 ⇒ 道路管理者として守っていただくしかないと考えている。 → 乗り入れしている企業バス等は何社程度あるのか。 								

⇒ 20社以上はあると思う。

- ・ 今回の改修計画では、歩道部分が広くなると思うが、一般車乗降所の部分にシェルターは設けるのか。

⇒ シェルターについては、既存の整備計画で建築確認申請の許可を取ってしまっているため難しい。補助を受けて設置する場合には、現計画の取り下げが必要になることが想定される。

→ 元の整備計画を取り下げて、今回の改修計画に基づく改修のみ行うことはできないのか。

⇒ 担当としては、すでに費用を投じていることを考えると取り下げは難しいと考えている。

- ・ 常磐線の乗降客推移は調べているのか。

⇒ 資料で龍ヶ崎市駅の乗降客数を示しているが、このほかにも独自にモニタリングを行い、駅前広場の利用台数を調べている。過剰な整備とならないよう数字は見えていく必要がある。

- ・ 一般車の駐車場へ入る入口の一般車レーンは2車線であるが、1車線では駄目なのか。2車線あるとこれまで同様に片側に止められてしまうことがあるのではないのか。

⇒ 1車線だと通行が円滑でなくなると思われる。右折で一般車乗降所に入る車が多いと想定しているため2車線にした。基本的には、入ってきた一般車は駐車場ゾーンに入ってもらおうという考えである。右折専用レーンにしてしまうことも1つの方法かと思う。

- ・ 一般車乗降所は6台止められるのか。

⇒ そのとおりである。現状、多い時で駅舎前に15台ほど止まる時がある。その分を駐車場の台数も含めカバーできればよいと考えている。

→ 駐車場は有料なのか。

⇒ 駐車場は30分無料であり、現在は12台だが今回は16台としている。

→ ロータリー内の駐車場を利用することは少ないのが現状である。現状、ロータリー内の駐車場は奥まっついて見えにくく、利用されにくくなっていると考えている。今回の改修計画の位置にすると、ロータリーに入っただけで空き状況が確認できるため、利用が増えることを想定している。送迎者専用駐車場というイメージで見てもらえればと思う。タッチアンドゴーができる一般車乗降所には入れない車が利用する駐車場という想定である。

- ・ 佐貫3号線の工事に影響はないのか。

⇒ 直接的な影響はないと考えている。

→ 佐貫3号線工事との兼ね合いも整理すべきである。

- ・ 今回の改修計画を考える前提として、既存の整備計画をどうすべきかということを考えるべきではないか。これまでの積み重ねがある中で、既存の整備計画を廃止するのは難しいところもあるが、事故等への対応などの喫緊の課題に対応しなければならぬことや少子化ということも考慮すると、ゼロベースで検討し、暫定の改修ではなく、既存の整備計画を一旦白紙にして実施するという含めて考えた方がよい。

- ・ 既存の整備計画への着手は平成27年度であり、そこから10年近く経過し、その間に新型コロナウイルスや社会情勢の変化、ライフスタイルや働き方に変化があり、電車で通勤していたものが、在宅で仕事ができる時代になっている。また、先ほど意見が出たが、少子化で人口減少が進行している状況もあることから、過剰な整備とならないようその辺も含めて考えていかなければならない。

	【その他】 ・ 特になし		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	部分公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条5号該当） 意思決定過程
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	令和6年10月